

地域公共交通計画のアップデートに向けたデータ活用について

国土交通省では、地域公共交通計画の作成、改定にあたってのモビリティデータの活用方法等を紹介した「アップデートガイダンスVer1.0」を作成し、公表しました。

モビリティデータの活用は地域の関係者同士で客観的・定量的に状況を把握しながら議論を進めるためには重要であり、GIS（地理情報システム）を活用することで、より具体的に地域の現状や課題を可視化することができます。

本講義では地域公共交通計画のアップデートに向けたデータ活用を学ぶことができます。初任者でもご参加いただける内容となっております。お気軽にご参加ください。

開催概要

日時：令和7年 10月2日 木
14:00 ~ 16:30

◆申込期限 9月25日（木）

なお、会場定員（30名程度）に達した場合、
申込受付を締め切らせていただきます。

会場：ウインクあいち 1102会議室
（名古屋市中村区名駅4-4-38）

対象：県・市町村の公共交通ご担当者様
※中部運輸局管外の方でも参加できます

講師紹介

福本 雅之 氏

（合同会社萬創社 代表社員／
名古屋大学客員准教授）

【プロフィール】

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻修了。
博士（環境学）。名古屋大学研究員、（公財）豊田都市
交通研究所、合同会社おでかけ
カンパニー代表社員等を経て、
2023年5月より現職。
公共交通に関するコンサルティング全般、人材育成に取り組ん
でいる。東海地方を中心とした
自治体の地域公共交通会議に有
識者委員としても参画。



実演

QGISの画面を表示して、簡単な地図の作成の様子
をお見せします。

データの活用により、地域の特性と交通ネットワー
ク情報、サービスの利用状況等を重ね合わせるこ
とで地域の課題や将来の見通しを可視化すること
ができます。

◇参加者へのお願い

講師の実演に沿って手を動かすと、より理解が深ま
ります。

実際に手を動かしたい方は、ノートパソコンに
「QGIS 3.40 LTR」をインストールしてお持ちく
ださい。

※必ず事前にインストールしてください。

※時間やスタッフ人数の関係上、十分なサポートがで
きない可能性があります。

グループ意見交換・発表

GISで作成した地図を提示し、地図から読み取る
内容等をグループで意見交換し、発表を行います。

申込方法 ▶二次元コード又は

以下フォームまでアクセスください。 

<https://questant.jp/q/benkyo2025-1>

お問い合わせ

主催：国土交通省中部運輸局交通企画課 【担当】小坂井、堺、竹内（TEL: 052-952-8006）

事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 【担当】近藤（TEL: 052-307-0932 / e-mail: transport_info@murc.jp）